

青少年奉仕の第一歩は 我々の後ろ姿を見せること

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 樋口 明



皆様、こんにちは。

5月は「青少年奉仕月間」です。

ロータリーには、様々な青少年奉仕プログラムがあります。インターアクト、ロータリー青少年交換、RYLA、世代的にはローターアクト、米山記念奨生関係、ロータリー財団奨学生関係、平和フェローも含まれるでしょう。6月23日には、そのロータリーファミリーの交流会である「Create Hope Day」を鶴見の總持寺にて開催いたします。ロータリアンとロータリーファミリーが一堂に会し、メンタルヘルスについて、平和とは何か?について学び、交流する場にしたいと思っております。皆様、奮ってご参加ください。

4月7日から12日の日程で「平和フェロー・ロータリー財団奨学生激励ツアー」のため渡米いたしました。(詳しくは、次号でご報告いたします。)下記は、第22期(2023-25)平和フェローとしてDuke大学平和センターで学んでいる深谷春奈さんのホストクラブであるダーラムRC(RID7710米国ノースカロライナ州)の例会での私のスピーチです。

『お世話になっております深谷春奈さんは、ご存知の通り日本人で39人目の平和フェローであります。彼女のロータリーとの関わりは、横浜にあります聖ヨゼフ学園インターアクトクラブに入部したことが始まりで、その後、ロータリー青少年交換でフィンランドに派遣されROTEXになり、大学進学後は、横浜ローターアクトクラブで活躍されました。大学卒業後に入庁したJICAでは、アフリカのブルキナファソやコンゴに赴任していました。彼女のキャリアは、高校時代に留学したフィンランドで移民の存在と、移民に対

する反感感情を目の当たりにし、強制移民が発生しないような国作りに携わりたいと国際協力に関心を持ったことがきっかけで、今日につながっています。彼女の高い志、情熱、行動力は目を見張るものがあり、彼女は日本のいや世界の宝だと思っております。』

これこそ、まさにロータリーの青少年奉仕プログラムの醍醐味ではないでしょうか。

彼女の成長を支え続けたIAC、RYE学生時代の提唱クラブである横浜鶴見北RC、RAC時代の提唱クラブである横浜RC、そして平和フェローのスポンサークラブである横浜都筑RCの皆様をはじめ大勢のロータリアンの皆様の支援、叱咤激励が実を結んだことと思っております。さらに学びを深め、平和の推進者としての活躍を期待しております。

同時に、ロータリーファミリーの育成には、皆様からのロータリー財団や米山記念奨学会へのご寄付が生かされていることを知っていただきたいと思えます。

ご寄付は、決してノルマや関所で徴収される代物ではございません。

結びになりますが、我々ロータリアンの日々の立ち居振る舞い、後ろ姿を見せることが青少年奉仕の第一歩であると思っております。まずは、青少年のプログラムに参加してみませんか。逆に若者から実に多くのことを学んでいることに気づかされると思えます。Take Action!

5月は青少年奉仕月間です。